

高知大学医学部附属病院

高知において

高知県は森林と海に囲まれた自然豊かな県です。森林率は 84%と全国一位で、森林浴やハイキングなど気分をリフレッシュするのに最適です。雄大な海では、ダイビングなどのアクティビティを満喫できることも魅力のひとつです。海だけでなく透明度の高い川も大人気で、特に最近では吾川郡いの町にある仁淀川に注目が集まっています。仁淀川ブルーと呼ばれる川はその透明度の高さから奇跡の清流として地元の方々からも愛されています。

また高知県の魅力を語る上で欠かせないのが地元グルメです。太平洋の海の幸を生かした郷土料理や、日本酒造りに適した水が作られる淡麗辛口の日本酒など、こだわりグルメが盛りだくさんです。高知県民のソウルフード「カツオのタタキ」は、一度は味わって頂きたい逸品です。



高知大学医学部附属病院の歴史

昭和 51 年、高知大学医学部の前身である高知医科大学が設置され、その 5 年後に医学部附属病院が開院しました。平成 16 年には国立法人化に伴い現在の名称である高知大学医学部附属が誕生しています。当院は特定機能病院、災害拠点病院、がん診療連携拠点病院、へき地拠点病院、地域周産期母子医療センター等の機能を有し、おらんくの大学病院として地域の医療を担っています。また、がん拠点病院としての機能強化、先進医療の推進および災害医療への対応を目的として病院再開発を進めています。



病院の理念、基本方針

『高度な医療を提供し、高い見識を持った医療人を育成する。先進医療を推進し、医療の革新に挑戦する。』という理念のもと、人材の育成やより良い医療の提供をおこなっています。また、基本方針として『安心・安全に配慮した高度な医療を提供する。先進医療を推進し、医療の発展に貢献する。深い人間愛と確かなスキルを備え、地域医療を支える医療人を育成する。』を掲げ、高い見識とスキルを持ち、患者さんに寄り添える医療人を育成する事に尽力し、地域の医療を支えています。

🌐 病院の組織

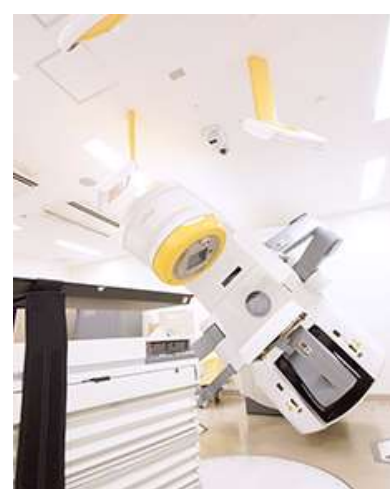
高知大学医学部附属病院では各診療科と薬剤部、看護部、地域医療連携室や入院支援センターといった診療支援施設に加え、新たに診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士といった医療技術職員で構成される医療技術部が加わりました。医療技術部は縦割り構造を超え連携するというポリシーのもと、診療において効率的かつ効果的な医療技術を提供するために、院内における人材、機材といった内部資源を最大限活用するための機能組織です。また、医療技術部での合同研修会として MiQURIO (Meeting of the Quadrifoglio の略) があり、個々のスキルアップだけでなく、共通の課題を提示することでそれぞれの立場からみる課題解決型人材育成を追求しています。



🌐 放射線部門

放射線部は、診療放射線技師 32 名、看護師 18 名、事務補佐員 5 名、派遣社員 6 名がチーム一丸となって業務をおこなっています。モダリティ毎に一般撮影部門、CT 検査部門、MRI 検査部門、放射線治療部門、血管造影部門および核医学診療部門で構成され、それぞれに主任及び専従する責任者を配置しています。月 1 回の部門責任者会議や年に複数回の技師長、副技師長による個別面談など、各個人の今置かれている状況や自身のキャリアに対する考え方などを部門全体で共有できるシステムを構築し、きめ細やかな指導、目標に対するアドバイスをを行っています。

また、学術発表や論文作成等のサポートも積極的におこなっています。2～3 人を一つのチームとして経験豊かな先輩技師を専属のチューターとして配属し、学術発表や論文作成の意義、研究計画の立て方、構成のお作法等をチームで学んでいく事ができます。学術大会への積極的な参加も推進しています。



大学院への道

高知大学大学院総合人間自然科学研究科修士課程医科学専攻に令和3年度から新たに『ヘルスケアイノベーションコース』が加わりました。このコースは、医学と工学を融合した「医工連携」による発見とモノづくりを通じて、ヘルスケアと地域社会に貢献できる人材（人財）の育成を行います。



医学について学ぶのは勿論のこと、医療の中に工学技術を取り入れるためには、ヘルスケアの問題を工学の言葉に翻訳しなければなりません。ヘルスケアイノベーションコースでは、この通訳が出来る人を育成します。また、新しいものを創出し、イノベーションを起こしていくためには、個人のスキルだけではなく、集団・組織をまとめ、目標に向かってスカラール、ベクトルを動かしていくことができるマネジメント能力も必要となることから、医学・工学だけではなく、組織マネジメントについても学びます。これらの学びを通して、個と個を繋ぎ、様々な力を集積化させ、また組織横断的に活動でき、さらには柔軟な発想・考えを持って実行できる人材を育成していきます。

診療放射線技師にとっても大変興味深い進路先となっており、やる気のある方の積極的な進学をサポートしています。

最後に

高知大学医学部附属病院では近年若手技師が多くなっており、活気に満ち溢れた職場となっています。その勢いを更に大きくするべく、地域の医療を支える医療人の育成を念頭に様々な方法でやる気と才能を伸ばしていける環境作りを心掛けています。放射線部門の詳細につきましてはぜひ HP をご覧ください。興味を持ってくださったあなた！ぜひ一度見学にいらしてください。やる気のある方を歓迎いたします。